

まちづくり情報特派員町長インタビュー

自治活動と協働のまちづくり

問 自治活動応援課 ☎ 84-0315

本年4月、役場組織の見直しに伴い、「自治活動応援課」が新設されました。そこで、

自治活動とは、協働のまちづくりとは何か、まちづくり情報特派員が改めて町長に伺いました。

【Q】自治活動応援課を新設した趣旨は?特に、文化・スポーツは教育委員会部局の生涯学習のイメージが強いのですが。

【町長】まず、自分たちでできることは自分たちでと、いうのが「自治活動」です。開成町は自治活動を自治会が担つてきましたので、自治会=自治活動と誤解されやすいですが、自治会に限らず地域を活性化させるため活動しているさまざまなグループがあります。文化・スポーツ分野にもたくさんあります。

例えば地域の中で歴史を趣

味程度に始めた人たちが猛勉強し、今では講座を開くまでに成長しました。

スポーツも人が集まりやすいです。文化・スポーツは教育委員会という今までの思い込みを捨てて、自治という活動の中でそれらを結びつけるのが狙いです。

ただ、まだまだ始まつたばかりですので、調整することころは再検討し、見直しをしていくのは必要です。市民にも少しずつわかつてもらえれば、また、自分たちでできることが粗いです。

かりで、そのまま始まつたばかりですので、調整することころは再検討し、見直しをしていくのは必要です。市民にも少しずつわかつてもらえれば、また、自分たちでできることが粗いです。

良いと思います。

【Q】教育の町、自治会との協働の町、全町公園化の町と3つのビジョンへの思いとは?

【町長】教育のまちづくりなど3つのビジョンを掲げていますが、根底は教育です。日本全体の行く末が不透明な中、将来を担う人材を育てていくのが教育です。教育という目標に向かっていけば、自治活動も活動になってしまいます。学校だけが教育の現場ではありません。

開成町は外(地域)の人たちをどんどん中(学校)へ、中の人たちをどんどん外へ、相互の乗り入れを積極的に行っていきます。

4月に開校した開成南小学校は、多目的室などを一般開放し、地域の方

と触れ合う場とするなどの工夫をしています。

【Q】協働のまちづくりについて語る町長

【学校だけが教育ではない】

子どもたちが外に出していくためには受け皿となる場、つまり自治活動が活発でないと受け入れられません。また、先生以外の地域の人たちから教わるのも良いことでもあります。学校の先生とは違った視点で教えるのも新鮮でよいのではないで

しょうか。



くのも教育の町を支える取り組みです。

【Q】自治会が盛り上がっているためには何が必要でしょうか?

【町長】長寿国家の日本において60歳というのは大変元気です。女性は比較的サーケル活動など、日ごろから地域と密着した活動をしていますが、定年直後の男性が自治会活動に積極的に参加するのではなくかなかなか難しいと思います。漫然と人生をまつとうするか、地域社会に貢献するか、うまく呼んで、日ごろから地域と密着した活動をしていますが、定年直後の男性が自治会活動に積極的に参加するのではなくかなかなか難しいと思います。漫然と人生をまつとうするか、地域社会に貢献するか、うまく呼んで、日ごろから地域と密着した活動をしていますが、定年直後の男性が自治会活動に積極的に参加するのではなくかなかなか難しいと思います。漫然と人生をまつとうするか、地域社会に貢献するか、うまく呼んで、日ごろから地域と密着した活動をしていますが、定年直後の男性が自治会活動に積極的に参加するのではなくかなかなか難しいと思います。

地域の特色を活かすのは自治活動であり自治会

地域に期待すること

▽横並びでなく、それぞれ地域に合った活動を→自分たちの地域自慢

▽一人一人が楽しむことができ、参加しやすい文化・スポーツを取り入れることにより、地域を盛り上げる

▽地域の特色を活かし、輝かせるのは自治=地域である



びかけるタイミングが必要です。行政が間に入って呼びかけをする必要はあると思います。そこには土台となる受け皿=自治会活動が活発でなければ受け入れられません。13自治会すべて同じ活動をする必要はありません。いい意味で、いいところをお互いにまねすればもっと活発になると私は思います。

インタビューを終えて

バランスをとるのは行政の役割です。北部の地域は、水田保全で開発がなかなかできません。行政が幼稚園を北部に作って子どもの声が聞こえるようになります。行政が幼稚園を北部に作って子どもの声が聞こえるようになります。地域の特色を活かした自治会発の個性豊かな活動を期待しています。

貴重な体験をさせていただきました。小さい町でも特色あるまちづくりをめざしてい

る町長の思いがよく伝わりました。自治会だからこそできること、また、開成町らしい特色ある自治活動ができればと思いました。

情報特派員 前田・長廣・絹谷

農村地域の北部と駅前の南部では人口構造も違います。それぞれの地域の実情に合わせた特色を出してもらい全体の

自治会は横並びではなく、それぞれの地域の実情に合わせた特色を出してもらいたいと思います。

【自治会は地域とのふれあいの場です】



自治会の防災訓練の様子

自治会に加入しましょう

問 自治活動応援課

☎ 84-0315

とより、様々な地域活動やイベントの開催を通して、地域への参加による住民同士のふれあいや連携の場を提供することで、地域生活を活性化し、安全・安心で、きれいな町づくりを推進する役割も担っています。これが地域の自治会です。自治会は地域に暮らす住民同士が、仲良く助け合いながら生活するために自主的に結成された組織です。

自治会に加入することから地域の人たちとのふれあいが始まります。まずは個人が地域に参加してみることから、地域づくり、町づくりを始めましょう。

また、防犯の面からも住民同士のつながりが犯罪抑止に有効であるとされ、実際に開成町では、自治会を中心とした昼夜の地域パトロールや、登下校時の見守り活動などから犯罪や事故の抑制に効果をあげており、地域での自主活動が地域全体に安全と安心をもたらしています。



町長にインタビューする情報特派員